昭和57年度
内水試

かわら版 3号

50

昭和58年
2月22日

〝網生簀養鯉に改善飼料を〟

すでに、御存知と思いますが、本年四月から網生簀で養成するコイの投与飼料の成分が変ることになりました。これは、霞ヶ浦北浦の湖水の汚れを少しでも防止しようという、目的によるものです。

昨年、当場と東京水産大学が共同でコイの新飼料試験を行い、その結果に基ずいて、茨城県がコイ育成用飼料の成分基準（暫定基準）を示し、これを受けて飼料メーカーは、この基準を満した飼料を本年四月から製造販売するためです。

茨城県がメーカに示した飼料成分の暫定基準は次のとおりです。

「一、粗蛋白質 37% 以下。
二、総カロリー 350 kcal/100g 以上 又は 450 kcal/100g 以上を目安とする。」

また、この基準を満している飼料（改善飼料）には左のような表示が飼料袋等にされます。

霞ヶ浦 改善飼料

改善飼料が皆様の協力によって全ての網生簀養鯉に使用されると、湖水への窒素負荷量（汚れ）が、いままでより、約10%カットされることになります。

飼料成分が変ることにより、実際に養鯉経営をされている皆様には、諸々の不安をお持ちと思いますが 一才、霞ヶ浦北浦の湖水の汚れを切実に肌で感じられ〝キレイな湖水にしたい〟と一番に思われているのも皆様と存じますので 一致団結しこの改善飼料を使用することによって、霞ヶ浦北浦の浄化を身を持って示していこうではありませんか!!

なお、改善飼料を使用した結果何か御気付の事がありましたら、内水試まで御連絡下さり。

湖内産ワカサギ採卵の結果について

本年1月31日～2月19日の間 計6回、霞ヶ浦漁連主催で湖内産ワカサギによる人工採卵が実施されました。寒い中、作業にあたられました漁業者の皆様・御苦労さまでした。

なお、内水試では、三漁協・採卵期間を通して ワカサギ親魚、採卵量等についての資料を取らせていただきました。ここでは とりあえず今回の三漁協全体でのワカサギ漁獲量についての結果をお知らせしておきたいと思います。（右の表）

この結果で 採卵後の廃魚に 26% の卵が残っており、この点についてはよりていねいに採卵すること等 改善の余地があるように思われます。

全採卵使用雌（廃）魚体重（平均 g/1尾）	24,766 g/1,914尾（12.9 g）
採卵前の雌 魚体重（平均 g/1尾）	31,849 g/1,914尾（16.6 g）
全・雄 魚体重（平均 g/1尾）	89,443 g/9,173尾（9.8 g）
全・未熟・不明 魚体重（平均 g/1尾）	19,672 g/1,642尾（12.0 g）
全・合計 魚体重（平均 g/1尾）	133,881 g/12,729尾（10.5 g）
全・着卵シュロ枝数	1,600 枚

茨内水試図